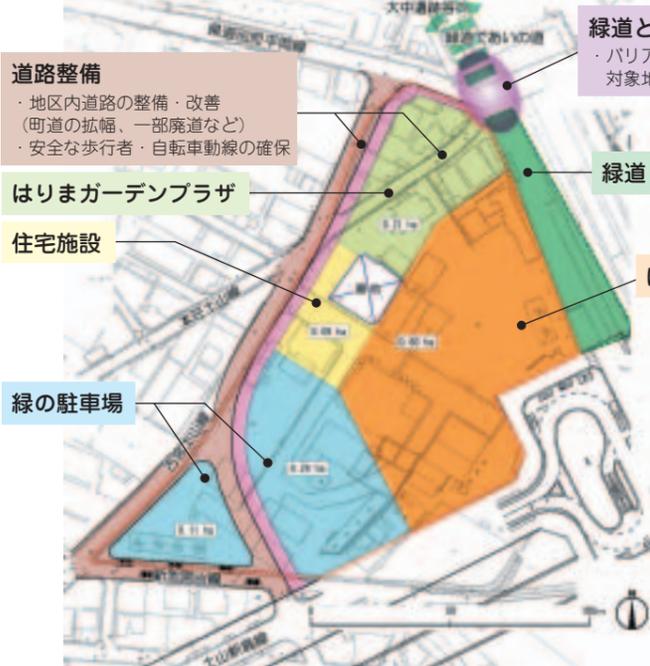


『JR土山駅南地区土地利 用基本計画』を策定しました



道路整備
 ・地区内道路の整備・改善
 (町道の拡幅、一部廃道など)
 ・安全な歩行者・自転車動線の確保

はりまガーデンプラザ

住宅施設

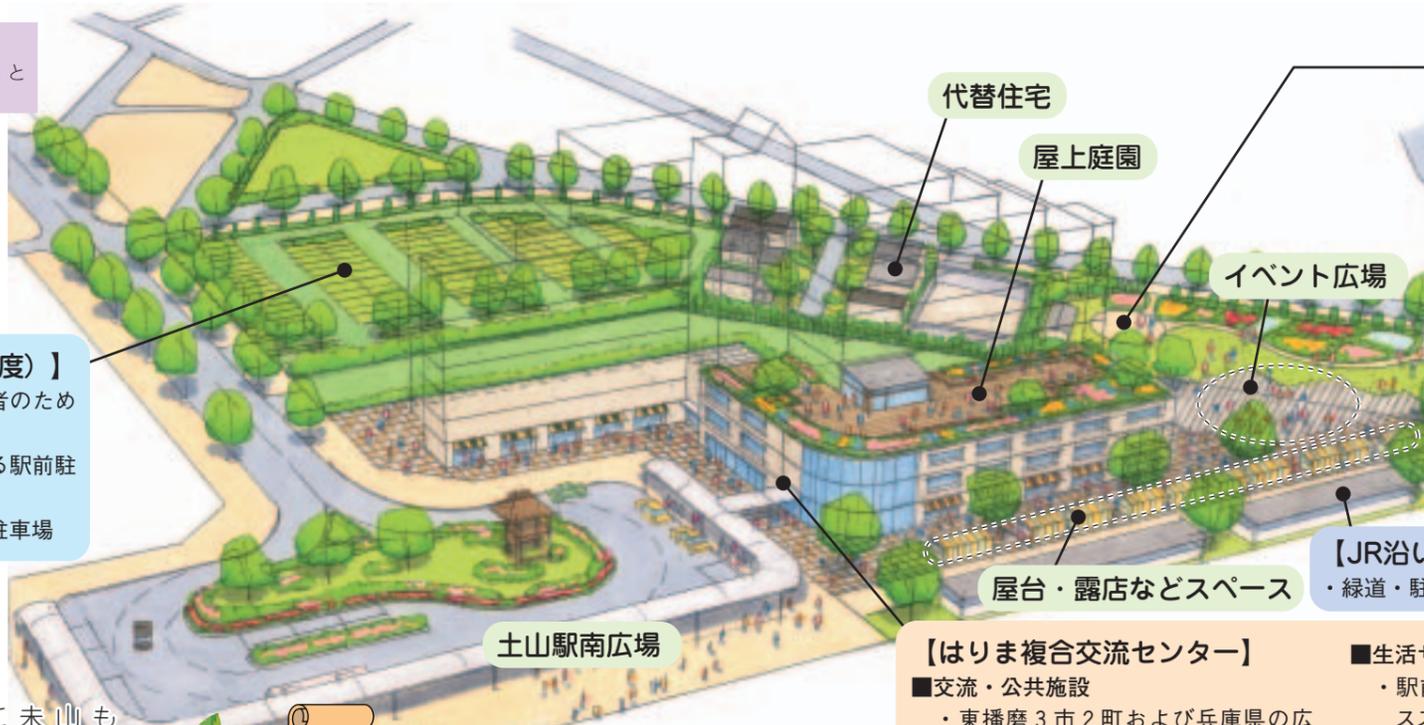
緑の駐輪場

緑道との連絡
 ・バリアフリーに配慮し、「緑道であいの道」と
 対象地区、駅を結ぶ安全対策

緑道・駐輪場

はりま複合交流センター

【緑の駐車場（120台程度）】
 ・駅前公共施設などの利用者のための
 駐車場
 ・駅利用者の利便性を高める駅前駐
 車場
 ・景観に配慮した緑豊かな駐車場



【はりまガーデンプラザ】
 ・駅前、であいの道と連携した緑の拠
 点
 ・「花」をテーマにしたコミュニティ
 ガーデン
 ・町民ボランティアやNPOなどによる
 花の維持管理〔複合交流センターと
 の一体化、花の直売、講習会、フリー
 マーケット（リサイクルプラザと
 の連携）など、各種イベントの実施〕
 ・墓地周辺を播磨町の次代を担う子
 どもの誕生を祝する記念樹の杜として
 21世紀の鎮守の杜とし、次代を担う
 子どもたちの郷土への愛着を高揚

【JR沿い】
 ・緑道・駐輪場（レンタサイクル含む）を整備予定

【はりま複合交流センター】

- 交流・公共施設
- ・東播磨3市2町および兵庫県の広
 域行政窓口サービス
 - ・図書検索、貸出、返却サービス
 - ・大中遺跡など地域資源、町民の各
 種文化活動の展示、情報発信
 - ・商工会事務所
 - ・警察官立寄所
 - ・多目的スペース

- 生活サービス施設
- ・駅前利便商業サービス施設（コンビニエ
 スストア、ATM、飲食店、若者向け店舗など）
 - ・各種会議、研修、事務所などへの貸し出し
 スペース
- 都市居住施設
- ・ファミリー向けマンションなど
- 環境施設
- ・北側緑地と一体的なオープンスペース
 - ・環境共生型の建築計画（屋上緑化など）

※この整備イメージは土地利用基本
 計画の参考として作成されたもので
 あり、建物規模・高さ・デザインな
 どは確定したものではありません。
 また都市型居住施設（マンションなど）
 は民間の事業参加が前提となるため
 図では線のみで表しています。

**はりまのシンボルとして
 『はりま未来の杜』づくり**

JR土山駅は播磨町の北の玄関口であるこ
 もに、東播磨地域の広域交流拠点です。JR土
 山駅南地区のまちづくりのテーマは、『はりま
 未来の杜』として、はりまの「ほっとする」
 にきわい・うるおい拠点の形成をめざします。
 「杜」…ここでは地域の「シンボル」「夢」
 という意味を込めています。

**様々なニーズに対応するための
 複合施設の導入**

具体的な整備内容については、多様な住民ニ
 ーズに対応するために、複合的な機能をもつ施
 設を導入することとし、中心的な施設として「は
 りま複合交流センター」を位置付けています。
 「はりま複合交流センター」は、東播磨地域
 3市2町および兵庫県の広域行政サービス、住
 民ニーズの高い図書検索サービス、大中遺跡や
 県立考古博物館（仮称）との連携による展示・
 情報発信サービス、各種集会やイベントなどの
 多目的スペース、各種事務所などからなる「交
 流・公共施設」、「コンビニ・飲食店など駅前型・
 近隣型の商業施設や民間公益施設などの「生活
 サービス施設」、マンションなどの「都市型居
 住施設」を盛り込んでいます。

また住民の意見募集などで多かった「文化ホ
 ール・音楽ホール」については、整備に必要な
 建設費・運営費の問題や、近隣市町に同種施設
 があることから、設置しないという結論に
 達しました。しかし、「交番」については、大
 きな住民ニーズがあり、地域生活の安全・防犯

土地利用基本計画の内容

に欠かせないことから、引き続き関係機関など
 への要望・調整を行うこととしました。

歩行者や自転車など活用したまちづくり

その他の施設として、駅前と「であいの道」
 をつなぐ緑の拠点として、地域住民との連携に
 よる緑地の整備・維持管理も考慮した「はりま
 ガーデンプラザ（公園緑地）」を設け、地域の
 憩いの場、ゆとりとつながるおいの場とし、イベ
 ントなどにも対応できるようになります。

また、駅利用者や駅前施設利用者のための景
 観に配慮した「緑の駐車場」、従前権利者など
 のための「住宅」を位置付けるとともに、イベ
 ントなどの際に屋台・露店を設置するスペース
 も盛り込んでいます。

さらに、これらの施設の整備に併せて、周辺
 の生活道路や駐輪場などの整備を行い、歩行者・
 自転車などの利便性と安全性を高めます。

民間資金などを活用したまちづくり

今後の整備にあたっては、従来型の公共主導
 によるまちづくりではなく平成16年度から民間
 の資金や経営能力などを積極的に活用すること
 を前提に事業計画を検討し、効率的で質の高い
 公的サービスの提供を目指します。

「はりま 未来の杜」プロジェクトは、引き
 続き住民の方々と情報交換を重ねながら進め
 ていきたいと考えておりますので、今後とも
 理解とご協力をお願いします。

■問い合わせ
 都市計画課 ☎07994(3)5(2)3366

『はりま 未来の杜』 プロジェクト



▲協議会の様子

活発な議論による検討

播磨町の北の玄関口であるJR土山駅では、
 長年の夢であった橋上化・自由通路が平成15年
 12月に完成したところですが、町では、その南
 側に位置する日本テルペン化学の工場用地を中
 心とする約1.6haのエリアを対象に将来のまちづ
 くりの構想を検討し、平成16年3月に「JR土
 山駅南地区土地利用基本計画」を策定しました。

策定にあたっては、地域住民代表、学識経験
 者、兵庫県、町職員で構成される「協議会」と、
 町担当者からなる「庁内プロジェクトチーム会
 議」で議論を重ねました。

住民意見の反映

また、協議会にあたっては、平成14年度に実施
 された各種提言・検討結果を反映するとともに、
 テルペン跡地意見箱などの設置による「土山駅
 南地区土地利用に関する意見募集」や「町政モ
 ニター員アンケート調査」「策定区域内権利者
 説明会」などを実
 施し、幅広い意見
 やアイデアの反映
 に努めました。

土地利用基本計画の策定経緯